

国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様

要望書

高規格道路
有明海沿岸道路の整備促進について



三池港 IC 連絡路着工式

(令和4年1月22日 荒尾市:南新地土地地区画整理事業地内)

令和4年11月

熊 本 県

熊本県議会

有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会

有明海沿岸道路の早期整備について

熊本県の道路整備につきましては、日頃から格別の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。また、「平成28年熊本地震」や「令和2年7月豪雨」からの創造的復興の取り組みにおいても、多大な御支援、御尽力をいただいております、重ねて感謝申し上げます。

「有明海沿岸道路」につきましては、本年1月に三池港 IC 連絡路の着工式が盛大に開催され、熊本県内においても、本格的な工事が開始されました。現在、大島高架橋の橋脚が次々と姿を現し、有明海沿岸道路の整備に向けて、県民の期待も高まっています。さらに、「熊本県新広域道路交通計画」には、新たに「有明海沿岸連絡道路」を構想路線に位置づけており、「有明海沿岸道路」は、有明海沿岸地域の広域的な経済交流圏を創出するとともに、九州循環型高速交通ネットワークの形成に不可欠な道路です。

平成28年熊本地震では、九州縦貫自動車道をはじめとする幹線道路の被災・寸断により深刻な交通渋滞が発生するなど、災害時における道路ネットワークの必要性を改めて認識したところです。激甚化、頻発化する大規模災害に対応するため、救助活動や支援物資の輸送路となり、「命の道」としての役割も果たす本道路の整備は非常に重要です。

また、熊本～福岡～佐賀県の重要拠点である熊本港・長洲港・三池港・九州佐賀国際空港などを連絡しており、物流の利便性の大幅な向上による企業進出や沿線経済の発展が期待されます。

更に、沿線には、万田坑や宮原坑、三重津海軍所跡などの世界遺産とともに、ラムサール条約湿地登録の荒尾干潟や柳川川下りなど多くの観光資源を有しており、広域観光ルートが形成されることで、九州全体の益々の発展にも繋がります。民間での動きも活発化しており、有明海沿岸道路整備の進展を見据え、沿線に連なる観光資源等を活用して観光客を呼び込むため、去る6月4日には、熊本、福岡、佐賀、長崎の4県をまたぐ11の観光協会により「環有明海観光連合」が設立され、広域的な取り組みを推進されています。

熊本県のみならず九州全体の産業や地域の活性化、観光振興に資するとともに、地域間の物流を平常時、災害時を問わず安定的な輸送を確保するためには、「有明海沿岸道路」の早期整備が必要です。

「有明海沿岸道路」の整備推進のために、周辺市町と一体となり、全面的に協力して参る所存ですので、次の事項について特段の御配慮を賜りますよう強くお願いいたします。

- 一 「荒尾市～長洲町」間の国直轄による早期事業化
- 一 三池港IC連絡路の整備推進
- 一 新広域道路交通計画に新たに位置付けた「有明海沿岸連絡道路」を含め、「長洲町以南」のネットワークの具体化に向けた検討の早期着手
- 一 準備が整った区間より順次、事業化に向けた計画段階評価の着手
- 一 有明海沿岸道路の整備のため、必要な予算の増額確保
- 一 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算の例年以上の規模で確保、及び5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保
- 一 資材価格が高騰する中でも地域経済を支えるため、公共事業を含む補正予算の速やかな成立
- 一 道路整備に加え、激甚化・頻発化する災害時の現場対応や自治体支援において大きな役割を担う国土交通省(地方整備局等)の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる確保

令和4年 11 月 15 日

熊本県

知事 蒲 島 郁 夫

熊本県議会

議長 溝 口 幸 治

有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会 会長 大 西 一 史